



会員数 32 人

北九州プロバスケットボールクラブ月報

つながり

No. 182

令和3年8月号

2021. 8, 17

植田佐世子新執行部誕生

ポストコロナに向けて抜本改革に取り組むことに

北九州プロバスケットボールクラブの令和3年度定時総会が7月20日午後、北九州市小倉北区の常設会場「ザ・スティーラー・ハウス」で開かれ、提案された6つの議案が原案通り可決された。古賀靖子会員が10年10か月に及ぶ会長を退任、代わって植田佐世子会員が会長に選出されて植田執行部が誕生、ポストコロナに向けて当クラブの抜本改革に取り組むこととなった。

総会には会員32名中28名が出席。長老の神田澄男会員が議長となり、議事が進められた。

昨年から今年にかけて世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により我が国でも緊急事態宣言がたびたび発せられた。当クラブもその直撃を受け、今年1月、2月、5月、6月の例会等の活動がほぼ全面的に休止され、会員の高齢化の進行や新規会員の減少にコロナ禍が追い打ちをかけ、発足時39名、最大で60名いた会員が32名に激減、事業報告では「発足22年目を迎えた当クラブも例外なく、大きな転機を迎えている」とかつてない危機感あふれる内容となった。

これを受けて令和3年度の事業計画では、そのトップに「北九州プロバスケットボールクラブの抜本改革」が掲げられ、「意見交換会を今秋にも開催、(中略)その後早急に、例会・委員会の改革に取り組む」ことを謳っている。

役員の変更では、①会長が古賀靖子会員から植田佐世子会員に交代②これまで2名いた副会長は1名となり、全日本プロバスケットボール協議会会長でもある古賀会員が就任③従来の会計は事務局次長の兼務に④20年近く事務局長を続け、当クラブの生き字引的存在だった遠藤信子会員が退任⑤役員数は2名減の11名となり、うち再任はわずか3名のみ——という大幅な変更となった。

議案の審議終了後、新旧役員を代表して古賀前会長、植田新会長の挨拶があり、この1年間、例会に皆勤した18名が表彰された。

新執行部の顔ぶれは次の通り。(敬称略)



▽会長 植田佐世子(新)▽副会長 古賀靖子(新)▽幹事長 安高洋一(元)▽企画委員長 大石照志(新)▽親睦委員長 吉田秀子(再)▽広報委員長 内藤康子(新)▽活性化委員長 近藤哲生(再)▽監事 竹原英作(新)、橋本峰子(新)▽事務局長 和田悦子(新)▽事務局次長・会計 住吉育代(再)

(前副会長 松本忠)

会長退任挨拶

古賀靖子



梅雨明けの暑さはまたひとときわ酷く感じられ、いよいよ本格的な夏の到来を迎えました。連日の猛暑の中、新型コロナウイルスのデルタ株の猛威が首都圏を中心に広がり、ワクチン接種とせめぎ合いの状況下にあります。

東京オリンピックは開催されましたが、昨年年頭から度重なる緊急事態宣言の発出で、当クラブも数度に亘って例会を休会といたしました。

本日は、北九州プロバスクラブの第23回目の総会でございます。この総会を無事に開催できましたことは、私にとりまして神からの贈り物だと思います。この期を待ちまして会長を退任させていただきます。

少し振り返りますと、入会いたしましたのが2003年3月でございます。2004年7月から1年間理事、引き続き4年間親睦委員長、更に第3代目の岩崎勝次会長の時、副会長の役を頂きました。ところが岩崎会長の急逝により、突然に私如き者が2010年9月から会長代行も含め10年10ヶ月会長を務めさせて頂くことになりました。思いもかけぬ大役でしたが、この10年あまりの間、殊に歴代の三役の皆様、並びに役員の皆様の多大なお力添えと、会員の皆様の絶大なるご協力により無事、任を全うすることができました事に、深く感謝申し上げます。

思えば、2014年11月11日約200名の参加者のもと創立15周年記念行事、次いで2016年11月29日全国27クラブ、183人のプロビアンに参加により第7回全日本プロバス協議会総会・北九州大会&北部九州大会&クラブ例会を開催、スムーズな運営、細やかな配慮、質の高い作品等々で高い評価を頂戴致しました。「みんなが主役、みんなが脇役」を実践した会員の皆様の努力が結実した証左です。

また、2018年11月全日本プロバス協議会第8回総会・三重大会で北九州プロバスクラブが会長クラブに推挙され、私が会長に就任しました。さらに、2019年11月11日約180名の参加者により創立20周年記念行事が厳粛にそして和やかに開催され、私の任期中に立て続けに歴史に残る大行事を開催できましたことは、会員の皆様のご協力があったことでございます。

最後に、残念なことに、このところ高齢、病気、死亡による会員の退会が増えたほか、高齢化が進んでおります。会員増強を主目的とした活性化委員会を発足させましたが、その効果もコロナ禍の追い打ちで会員数の減少に歯止めがかかっておりません。その最中に役を辞することは、誠に心残りでございますが、後任の新会長様は私より15歳もお若く、新たな発想で北九州プロバスクラブの発展に尽くされると大きな期待を寄せております。どうかよろしくお願いいたします。

しかし「人生百歳時代、老兵はまだまだ頑張ります！」 深謝で終わりいたします。

7月例会報告

会員出席者：28名

故脇孝之会員へ黙祷を捧げる。

3ヶ月振りの皆様のお元気な様子に安堵する。早速、植田会員指導による脳活体操。今回も会員の状況に合わせた体操で心身ともにほぐされた。続いて5月誕生者2名（和田、橋本）、6月誕生者1名（近藤弘）、7月誕生者2名（故 脇、池田）計5名の会員に対しカードとお祝い金を贈呈し、植田会員リードのハッピーバースディの歌で祝しコメントを頂く。会食。会食中の会話は多くの会員がワクチン接種後のためか4月例会時より増えたような気がした。

古賀会長挨拶で再開し定時総会に入る。神田議長の手慣れた進行のお陰で全ての議案が無事承認され新役員会が誕生した。代表して古賀会長、植田新会長挨拶。旧役員の方々お疲れ様でした。続いて皆勤賞表彰（18名）。会員数減の中で皆勤者数は一定数を毎年確保している。これこそ本会の魅力の証であり、誇りとするところである。集合写真撮影もスムーズに行われた。続いて管理栄養士の住吉育代会員による卓話。演題は「高齢者にいつまでも食べる喜びを！」。資料とパワーポイントで日常的に注意すべき点・努力すべき点など高齢者の栄養問題の基本を分かり易く説明された。早速実行すべき項目も多くあり実利的な良い話であった。続いて全日本プロバス協議会事務局報告、委員会・同好会報告。

楽しみのショートスピーチは吉田信雄会員による「出会いについて」。人と人との出会いがその人の人生（仕事・住所など）に大きく関与することはよく耳にするが。ご自分は2人の方との出会いを本会との関係をも触れながら、とつとつと懐かしげにかつ満足げに話された。聞く者の心の琴線に触れるスピーチであった。

諸連絡。最後に松本会員リードによるプロバスの歌を高らかに斉唱し散会した。

ご協力に感謝申し上げます。（中山）



吉田 信雄会員

今回は、当クラブ最年長、90歳の吉田信雄会員の登場だ。

「今朝、腰を痛めましてね」と笑いを誘った後、「今日は出会いについて話したいと思います」と切り出した。

吉田さんは、人生の転機となったお二人の名前を挙げた。1人目は、広島県下蒲刈島に戦地から引き揚げてきた8歳年上の角田さん。角田さんは呉市で勤め始めると、島で農業を営む父親の手伝いをしていた吉田さんに、「町で働く気はないか」と声をかけてきたそうだ。吉田さんは父親と相談のうえ町に出ることを決心、その後も広島に新たな就職先を紹介してくれ、「私の現在に至る新たな道を2度も切り開いてくれた大の恩人です」と話した。

2人目は当クラブの幹事だった吉森博之さん。囲碁の会で知り合ったそうだが、吉田さんが退職したのを知って、「プロバスにも囲碁同好会があり、毎月2回囲碁会を開いている」と声をかけてきたのをきっかけに、プロバスに入会したという。以降、プロバスで充実した老後を過ごしているそうで、「入会してさらに会員の皆さんとの素晴らしい出会いがあり、元気で若さをいただいています」と話していた。

「私にも数々の出会いがある」と自らの人生を振り返ったのは、私だけでしょうか。
(松本)

同好会活動報告

写友会

7月例会時の出展は14点でした。コロナ禍に負けじと、美しい風景を撮影するなど会員夫々が力作を持ち寄りしました。

毎回、多くの作品を提供してくれていた脇さんのご逝去は誠に残念ですが、今回は洞さんが多数出展してくれました。(大川)



卓話

「高齢者の栄養問題～いつまでも食べる喜びを」

管理栄養士・住吉育代会員

「プロバスに入会して一番驚いたのは、みなさんの旺盛な食欲でした。だからこんなに元気なんだと思いました。」と前置きして、食べるということは生きる活力を得ることですが、年齢を重ねると色々な症状が起きてきます、とスライドを活用して本題に入った。



まず高齢者は食の様々な機能が低下する。唾液の分泌が減る事により、口が渇きやすくなり、その結果食べにくく、飲み込みにくくなる。嚥む力も若いころの3分の一から4分の一になるといわれています。消化、吸収能力も落ち、腸の蠕動運動が弱まるため便秘にもなりやすくなるという。

嚥む、飲みこむ力の低下を示すサインを見逃していませんか？食事中や食後に咳が出たり、口の中に食べ物が残っていたり、食事時間が長くなったりしていませんかと自己チェックを呼びかけた。

その上で、「料理本来の味わいをできるだけ生かし、嚥む力、飲みこむ力に応じた食事をしましょう」という。具体的には煮ることで食材が軟らかくなり、野菜は繊維を絶つ切り方で、カレーやあんかけ料理は食べ物が喉を通りやすく、むせにくくなる。きざみ食はあんまり細かくするとかえって飲み込みにくくなりますと説明、最後に自分の力で食べにくくなくても、できるだけ自分の力で食べて下さい。食が細くなっても卵、肉、魚、豆腐などのたんぱく質は毎日取ってくださいと呼びかけた。

卓話終了後、「食が細くなり、3食は無理、朝抜きか昼抜きではどちらがいいか」という質問などがでたが、住吉さんは「管理栄養士としては3食きちんと食べることをお勧めします。2食では栄養バランスをとることは難しく、低栄養を招く恐れがあります。」と回答した。

総会のため、いつもより30分短縮された卓話だったが、巧みに時間内に収まるように整理。身近な問題だけにみんなもっとゆつくりと聞きたかったのではないかなと思う(安高)

全日本プロバス協議会事務局報告

全日本協議会の郵送による文書総会開催に全力投球

全日本プロバス協議会の郵送による文書総会・第9回総会が8月4日から始まった。この日午後、北九州プロバスの全日本協議会事務局幹事4名がザ・スティール・ハウスの一室に集まり、全国の会員クラブ宛に議案書等の発送作業をした。

第9回総会はコロナ禍で1年間延期され、しかも全国のプロビアン交流の場になるはずだった五所川原大会が中止となり、文書による変則開催となった。事務局では6月から7月にかけて、2020年度の活動報告と収支報告、2021年度の活動計画案と予算案、それに会則の改正案、人事案件の計6つの議案を練り上げ、全日本協議会の監事に会計監査をお願いし、常任理事・理事対象に持ち回り理事会も開催したが、コロナ禍による緊急事態宣言下にあったこともあり、ほとんどが持ち回りで意見調整等をした。

議案の賛否を問う投票は9月10日が締切日。投票結果は10月1日付発行の「全日本プロバス協議会ニュース」でお知らせする予定だ。(松本)

委員会活動報告

□活性化委員会 7月22日 9名参加

ワインの会会場になっている小倉北区大手町のリップで開催。議題は今期の活性化委員会の取組みで、近藤委員長が「今年度当会をいかに活性化してくか、本日は皆さんの自由な意見を頂きたい。会の活性化は会員増強が重要であり、ホームページを開設した事を機に当会の活動をPRしていきたい」と挨拶した。

例会、委員会活動、同好会等のあり方にも当委員会は提案を行っていくことを申し合わせ、副委員長に古賀えみ子を決めた。リップでの美味しい食事は最高で、会議は和気あいあいとした雰囲気で行われ、今後の委員会活動に弾みが付いた。(古賀え)

□広報委員会 7月27日 11名参加

Linkの編集作業が間近に迫っているため、新旧メンバーによる合同委員会になった。最初にLinkの作業日程を説明、納本から逆算して、原稿締切日を計算、随筆のテーマ、表紙写真の手配などを決めた。続いて、月報の説明、次回から広報委員長が内藤さんに交代、月報も編集担当者が交代するため、交代に伴う諸問題を話し合い、スムーズな移行を目指した。(安高)

誕生日おめでとうございます(5～7月、敬称略)

和田悦子(5月2日) 橋本峰子(5月23日)
近藤弘子(6月14日) 故脇孝之(7月22日)
池田成彬(7月23日)



ありがとうBOXメッセージ7月分(順不同、敬称略)

★永い間皆様大変お世話になりました。無事任務を終えました。(古賀) ★いろいろとお世話になりました。(松本) ★今日から始まりました。不安いっぱいです。(和田) ★元気な顔が見れてうれしい(植田) ★感謝(松永) ★楽しい会に参加するのが楽しみです。(池田成彬) ★暑さに負けずガンバロウ!!(住吉) ★新体制の運営に期待(竹原) ★孫の野球応援に行きました。楽しかったです。(吉田秀子) ★ご協力ありがとうございました。(中山) ★脚・腰・前立腺と、3つの入院生活3か月。休養。無事退院。(大川) ★議長の役目を無事終わることが出来ました(神田) ★2ヶ月ぶりに皆さんにお会いできて嬉しい!(内藤) ★お世話になります(眞鍋) ★梅雨もあけて暑さも本格的になります。充分からだに気をつけて元気にのり越えたいと思います。

(柴村) ★暑中お見舞い申し上げます(近藤哲生) ★お誕生日祝っていただきありがとうございます。いくつになっても嬉しいものですね。皆様に色々教わりながら参加させていただきたいと思います。(近藤弘子) ★早く孫たちと逢いたいな(橋本) ★今日までコロナにもめげず元気にすごせましたことを感謝します。(藤原) ★久しぶりの例会、楽しいひとときです。皆さん、健康で良かった!(新城) ★安高 吉田信雄 洞

収支報告	6月末残高	111,101 円
	7月分	13,300 円
	7月末残	124,401 円

